

聖書ほんやく

日本ウイクリフ聖書翻訳協会

聖書翻訳宣教の目指すもの

～世界の聖書翻訳状況を通して～

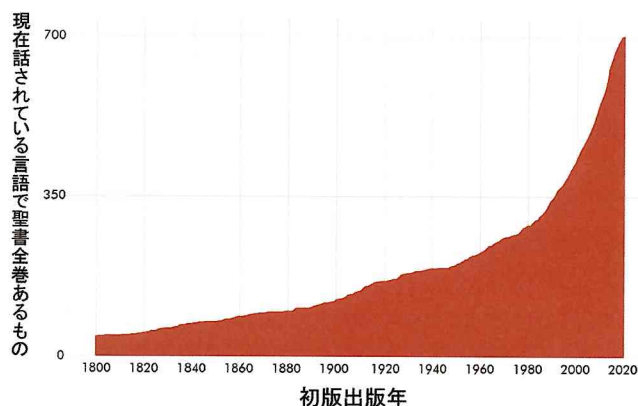
No.262

2020年12月1日発行

2020年10月、世界ウイクリフ同盟から世界の聖書翻訳状況(手話言語も含む)の新たな統計が発表されました。

聖書全巻がある	704語
新約聖書はある	1,551語
分冊・聖書物語はある	1,160語
翻訳プロジェクトが進行中	2,731語
翻訳プロジェクトを始める必要がある	2,014語

聖書全巻が翻訳されている言語数は、遂に700を超え、704言語になりました。聖書全巻がある言語数は、1990年ごろまでは緩やかに伸び、そこから現在に至るまでにほぼ2倍になっています。(下グラフ参照)

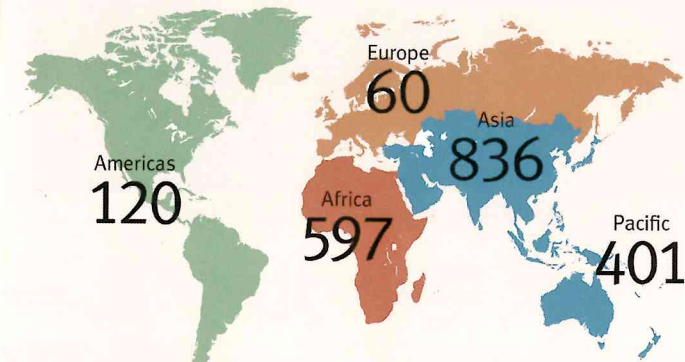


また、聖書全巻はなくても新約聖書はあるという言語、新約聖書全巻はなくても分冊は訳されている言語も合わせると3,415言語になり、この数字も21世紀に入ってから急速にのびてきています。

一方で、聖書翻訳プロジェクトを始める必要がある言語数は、まだ2,014言語もあります。これらの言語を話す約1億6700万の人々は、自分たちの母語でみことばを味わえるようになることを切実な思いで待ち続けているか、あるいは、神さまから自分たちに与えられている恵みがあることさえ知らずにいるのかもしれませんが。

日本語には聖書全巻が翻訳されていますが、創世記から黙示録までのみことばを自分の母語で読んだり、聴いたり、味わうことのできない人々が、まだ世界には約15億人(6,656言語)もいます。分冊しかない、または新約聖書

しかない言語においては聖書全巻翻訳に向けて働きを続けていく必要があります。たとえ、聖書全巻の翻訳が完成していたとしても、折々に改訂が必要なことは、近年、日本でもいくつかの新しい訳の聖書が出版されたことを考えれば容易に想像できることでしょう。



聖書翻訳プロジェクトを始める必要がある言語の分布

世界中のすべての人がそれぞれの母語でみことばを味わえるようになる、その日までの道のりを思うとただただ圧倒されてしまいます。しかし、神さまが確実にそのみわざを進めてくださっていることは、毎年更新される統計の数字によっても知ることができます。そして、今この時もその数字は動いているのです。かつて日本ウイクリフの宣教師が奉仕していたフィリピン山岳州のバーリグでは、2004年にバーリグ語新約聖書が献書された後、母語翻訳者が旧約聖書の翻訳を続け、2020年現在、バーリグ語聖書(今年完訳した旧約聖書と新たに改訂された新約聖書)の印刷が最終段階に入っています。また、その隣の言語グループ、カダクランでは、40年間休止していたカダクラン語聖書翻訳プロジェクトが、この10月に再始動しました。

統計の数字が更新されていくことは大きな励みですが、訳された聖書が出版されることが私たちのゴールではありません。日本ウイクリフをはじめ世界ウイクリフ同盟が目指すのは、訳された聖書によって人々が神さまと出会い、救いの恵みに与り、みことばによって人々が、そして世界が変えられていくことです。そのために、これからも、主にある兄弟姉妹、地域教会、地域社会、パートナー団体と、この働きをともに担っていくことを願っています。

コロナ禍にある東南アジアの 複数言語プロジェクトの近況

塚田真理子／聖書翻訳・識字教育

【2020年7月】初の試みとして、民族音楽賛美についてのオンラインセミナーを持つことができました。国内各地からの教会の指導者たちと、民族音楽での賛美について理解を深め、意見交換をしたり、互いの教会の必要を知ったりするよい機会ともなりました。夫のトウゲーは、リモートでセミナーを導くことになっていたのですが、セミナーの数日前に、いつも使っているインターネット回線が不通に！このタイミングで何で...と思ってしまいました。その後によくなるための不通であることを願い、回復する



コロナ禍以前の民族音楽ワークショップの様子

ことを祈っていました。どうなることやらと思いましたが、セミナーの2日前に回線が戻り、停電やネット回線の不調からも守られて、セミナーを終えることができました。神様の守りとご支配が細部に及んであることを知ることができました。みなさんのお祈りに心から感謝いたします。

【8月】私たちの任国でも新型コロナウイルスの感染が収まっています。そんな中、働きの継続のための模索が続いていましたが、今月からオンラインで民族音楽ワークショップを開くことになりました。M州の人たちと週に一度、木曜日にリモートで繋がり、それを4回続けます。実際にみなが集ってのワークショップとは勝手が違い、時間の配分など難しさも覚えますが、みなで改善点を見つけながら前向きに取り組んでいます。停電や回線の不調からも守られますよう祈っています。

【9月】週に1度、M州の人たちと繋がり、4週に渡ってオンラインワークショップをしました。回を重ねる毎に要領を得ていき、有意義なワークショップとなったことを心から感謝します。離れていても共に繋がることのできる喜びを、参加者、スタッフのみなさんが覚えることができました。これからの働きの可能性を探る上でもよき機会となりました。

スモールグループ・セミナー報告

福田崇／聖書活用・宣教協力担当

2020年10月10日10:00-12:00、スモールグループ・セミナーがオンラインで開催されました。参加者は、約70名でした。聖書同盟・聖書を読む会・日本ウィクリフ聖書翻訳協会の3団体の協力で行われました。それぞれの団体名に「聖書」が入っていることから分かりますように、聖書が信仰生活で大事な役割を果たすことを信じています。各団体の働きの焦点は異なっていますが、重なっているところもあり、今回は、信仰生活において聖書に向き合うことが盛んになることを願っての共催でした。

総合司会は島先克臣・聖書を読む会総主事、講演者と内容は、以下の通りです。

- ① 松丸嘉也・日本ウィクリフ聖書翻訳協会総主事：「翻訳聖書を通して語る神—なぜ聖書は翻訳されなければならないのか—」言葉を用いる神、聖書を通して語る神、母語を用いて語る神というポイントで、まず母語の日本語で聖書が読めることの恵みに思いをはせました。
- ② 福田崇・日本ウィクリフ聖書翻訳協会宣教師：「スモールグループ運動の現在」21世紀の世界の変化と世界の教会の大きな変化を背景として、インド、フィリピン、韓国、カトリックの内部におけるスモールグループの運動について紹介。この動きの背後に、鍵の言葉として、信徒・聖霊・神のことば・スモールグループがあります。

③ 嶋田博孝・聖書同盟総主事兼 CSK 主事：「聖書の権威とみことばを分かち合うこと：書かれていることを越えない分かち合いの在り方」今の私たちに働く聖書の権威、勝手に解釈しない、けれども読むことが大切、というポイントでした。

④ 水口功・東京フリー・メソジスト桜ヶ丘教会牧師、聖書を読む会理事長：「スモールグループで聖書を学ぶ意義」礼拝説教の分かち合い、聖書の日課の分かち合い、聖書を読む会の手引きを用いてのグループにおける分かち合いの、祝福・課題・展望を話されました。

※講演の録画、原稿はインターネット上にアップされています。

URL：https://www.youtube.com/watch?v=IG6aTq_nFxc

(あるいは「1010スモールグループ・セミナー」で検索)



リモートで講演する松丸総主事(日本ウィクリフ)

宣教師近況

※このコーナーでは、日本ウイクリフの宣教師の近況を掲載しています。

☆阿部紀美子：ビザは2021年2月初めまで更新できました。コロナウイルスの感染が住まいの周辺にも確認されています。2月以降もビザを更新予定ですが、コロナの感染状況などを見て適切な判断ができるようにお祈りください。

☆大山ゆきの：次のステップへの導きを求めて祈りつつ、準備中です。神様がどこに遣わしてくださるか期待しています。

☆カセビ・ジャエミ・恭子：2021年1月、最終印刷許可のため、ルカの福音書の5つの章のチェックがあります。お祈りください。これが終了すると、創世記・ルカの福音書・ヨナ書・ルツ記を製本します。

☆兼次宏枝：働きが守られていることに感謝しております。『送り出す者として』（新装・改訳）は、2021年1月発売予定です。多くの方々に用いていただけるようお祈りください。

☆高田正博・優子：11月にトラウマヒーリング協会主催のトラウマリカバリー聖書に基づく回復の旅のファシリテーター育成研修会※をオンラインで開催しました。他の日本ウイクリフメンバーとともに教材翻訳に関わっています。

☆塚田トグ・真理子：東南アジアの民族音楽ワークショップをオンラインで進めてきましたが、スタッフのためのオンライン用手引きが必要になり、作成が進んでいます。状況に対応していく知恵が与えられますように。

☆野沢道世：会計は、12月半ばの会計年度の切り替わりがあり、予算作成、決算、そして1月には監査を予定しています。

☆福田崇・愛子：10月1日から、4名の働き人によりカダラン語新約聖書プロジェクトがスタートしました。40年間、休止状態でしたが、バーリグ聖書協会が推進します。バーリグ語聖書（旧新約全巻）は、最終の校正中です。年末までには印刷が終了する予定です。

☆福永有・貴恵：宣教師子女のための「30日祈りのブックレット」（日本語版）を他の宣教団体と協力して出版計画中です。校正から出版までの作業が守られ、この祈りの冊子が豊かに用いられるように。

☆松浦紀子：南アジアのMTCN（母語センター）の働きはコロナ禍のためにとっても厳しいようです。お祈りください。私は守られており、お祈りを感謝しています。

☆松丸嘉也・美香：寒さを迎える中でも健康と安全が守られ、コロナの状況に対応した取り組みを含めて奉仕を続けることができるように。教会を訪問する機会が、少しずつですが与えられるようになり、感謝しています。

☆村島健一郎・さおり：11月にトラウマヒーリング協会主催のトラウマリカバリー聖書に基づく回復の旅のファシリテーター育成研修会※が行われました。トラウマリカバリーの働きが相応しく用いられるように。

奉仕地の事情により、近況の掲載を控えている宣教師もいます。また、人名・言語名・地域名は、実名で記していない場合があります。掲載していない宣教師数：3組5名

プロジェクト支援



※以下のプロジェクトへの祈りや経済的支援を受付けています。お問い合わせは日本ウイクリフ事務局まで。(048-466-3730)

アルネ語旧約聖書翻訳プロジェクト（東南アジア、田口勇新・孝子夫妻が携わり、母語翻訳者達が継続）：詩篇（パート3）の審査を終え、詩篇の50%を終了。1-3月にこれまでの詩篇の印刷をし、人々がみことばを用いて賛美歌を作れるよう準備します。奥さんのメイさんと9ヵ月離れ離れだったイモさんが12月上旬帰宅、3月までセラムでリモートワークの予定です。

ウアレ語聖書翻訳プロジェクト（パプアニューギニア、故吉川啓子宣教師が携わり、リー師に引継がれ再開）：2名のコンサルタントがパプアニューギニアに来られないため、5書の審査を10月～2021年1月までメール等でしています。母語翻訳者たちの信仰が整えられ、ウアレの人々がみことばに興味を持ち、変えられていくように。リー宣教師の健康と霊性のために。

メラメラ語聖書翻訳プロジェクト（パプアニューギニア、大鐔秀樹・正枝夫妻が携わり、ホアン宣教師夫妻に引継がれ再開）：ピレモン・ヤコブ・ペテロ・ヨハネⅠ-Ⅲの各書のコンサルタント審査がスムーズに行われるように。2021年3月からの娘さんの大学生活の準備のために。ビザや奨学金取得のために。ウカルンパ国際学校での息子さんの学びが守られるように。

※トラウマヒーリング協会は、ウイクリフと協力関係にある団体です。世界ウイクリフ同盟は、聖書翻訳宣教の大切な部分である聖書活用の働きの一環として、協力団体と共にトラウマリカバリー聖書に基づく回復の旅のファシリテーター育成研修会を行っています。

少年Sの物語

連載 第1回

鳥羽イングリット

その少年の物語は、何年も前、私たちが南アジアのヒマラヤ山脈の村に住んでいたところに遡る。

当時、私たちの家は、下の村から登ってくる道筋にあり、道は谷の上流の村へと続いていた。そこには学校があって、下の村から学校に通う子どもたちは、何かおやつを期待して、または単に私たちのことを眺めるのを楽しみに、毎日のように私たちの家にやってきた。S少年はそうした子供たちの中の一人だった。何歳だったのか、大人びた表情をしていたが、体つきはどう考えても10歳以上には見えなかった。

当時は電話や無線機といった連絡の手段がなかったため、私たちはモンスーンの季節には首都で過ごすのが常だった。ある年のそうした首都滞在から村に戻ると、あの少年は、以前よりもっと陰い表情になっていた。何年も経って知ったのだが、私たちが村から離れている間に、彼の母親は病気になる、そして亡くなっていたのだ。母親が亡くなる前、忘れないようにと繰り返し語った三つのことを、後に少年は語ってくれた。「盗んではならない」「嘘をついてはならない」さらに、母親が彼に約束させたのは「学校に通い、学ぶ機会を逃さずに学ぶ」ことだった。少年の父親は、私たちが村にやってくる数年前に亡くなっていた。少年には兄がいて、母親が亡くなったときは、インドの軍隊に入っていて留守だった。母親が死んでから兄が戻るまで、少年はひとりで暮らした。後に兄は戻って来たが、伯父に弟の世話を頼むと、土地を売り払った金を持ってすぐにまた行ってしまった。それで、少年は伯父のところ暮らし始めた。奴隷のような扱いだったが不平も言わずに働いた。彼は、母親に教えられたことを決して忘れなかった。いつも正直であること、決して盗みを働いてはならないこと。そして何よりも、独り立ちできるように、できる限り教育を受けるよう努力すること。命じられた仕事を何でも一生懸命に

することで、少年は、母の遺言なのだから学校に行かせてくれと、伯父に食い下がることができた。また、私たちが忙しい時など、彼は子守を買って出てくれた。当時よちよち歩きだった次男にとって、とてもよい子守役だった。

ある復活祭の日曜日、復活祭の本をいくつか持って、ふたりの息子たちと丘に登っていると、そこに少年がやってきた。その頃彼は、村から遠く離れた高校に通うために、平日は寮で生活していた。伯父から寮に持っていくキビの粉を十分にもらえなかったのか、寮に戻れず、遠くの野良に仕事に向かっているところだった。ひどく落ち込んで、寂しそうだった。それで、私たちは彼を呼んで、一緒に物語を読んで聞かせ、絵を見せた。家族写真と一緒に写ったり、一人で写真に写ったりして、彼は楽しそうだった。私たちの歌う歌に耳を傾け、それから彼は仕事に向かった。数週間後、私たちが首都に戻る頃となった。道中は長く、凸凹であるため、ふたりの息子を籠に入れて担いで運んでくれる人が必要だった。Sは、その日ちょうど学校に戻るところだったので、喜んで担いでくれた。下の息子は彼のことが大好きだったので、滑走路までの丸一日かかる険しい道のりを彼に担いでもらうことにした。私たちの手元には今もその時の写真がある。

その年のモンスーンの季節が終わっても、私たちはいつものように村に戻ることができなかった。予想もしなかったことに、国を出なければならなくなったのだ。その後9年間、彼からの便りはなかった。多分必要な文房具や切手を買うお金がなかったのだろう。

ようやく任国に戻り、働きを再開できたのだが、問題も生じた。私たちが戻れないでいた間もずっと手紙のやりとりを続け、翻訳に関わってくれていた若者が、結婚を控え給料のよい仕事に就く必要もあって、翻訳の仕事を辞めたいと言い出したのだ。彼は、あのSを後任にと推薦した。全く見ず知らずの人を雇うより前任者の言葉に従う方が安全だったので、彼の推薦を信じて、私たちはかつての「子守の少年」を雇うことにした。(次号につづく…)

聖書をすべての言語に!



日本ウイクリフ聖書翻訳協会

〒351-0021

埼玉県朝霞市西弁財1-9-26-210

Tel & Fax: 048-466-3730

Email: info@wycliffejapan.org

HP: www.wycliffejapan.org

郵便振替口座: 00150-4-106574

加入者名: ウイクリフ

※指定献金制ですので、ご送金の際は、「〇〇指定」と指定先をご明記ください。

インフォメーション

❖ 2021年版カレンダー販売中

日本ウイクリフのオリジナルカレンダー2021年版を販売中です。A5サイズの冊子カレンダー(2ヶ月見開き全16頁)1冊320円(税込)+送料実費。10冊以上ご注文の場合は、1冊300円とお得です。



❖ 『送り出す者として』(新装・改訳)

2021年1月発売予定!

長らくお待たせいたしました。異文化での働き人の良き同伴者、送り出す者となるための手引書、『送り出す者として』(B5版 約160ページ)が新装・改訳され、来年1月に発売予定です。1冊500円(税込)+送料実費。

みなさまの宣教の働きのために用いていただければ幸いです。

尊い救い主、宣教の主の御名を讃美いたします。

世界中が、年の初めには思いもしなかった一年を過ごして参りました。新型コロナウイルス感染拡大の影響が私たちの生活の全てに及ぶ中であっても、世界宣教—主のみことばの前進—に目を向け、ウィクリフの聖書翻訳の働きを共に担い、尊いお祈りと献げものを通して宣教チームの一員として歩んでくださり、お支えくださいますことを深く感謝いたします。

『聖書ほんやく』2020年12月号（No. 262）を送付させていただきます。コロナ禍にあっても神様が聖書翻訳宣教を守り、祝福し用いてくださっていることを覚えます。今後も共にお祈りいただければ本当に幸いに思います。その他にも同封しました各種ご案内が、皆さまへの励ましや祈りの助けとしてお役に立ちますようにと願っております。

今年のクリスマス为例年と違った形で迎えるよう準備されている方も多いことかと思えます。永遠に変わる事のない真実の神様のご愛と救いを喜び、感謝し、主のご降誕をお祝いするクリスマス、そして新しい年をお迎えくださいますように。クリスマスの恵みと祝福が、お一人お一人に豊かにありますようお祈りいたします。

主に信頼し、喜びと希望をもって。

2020年12月

日本ウィクリフ聖書翻訳協会
総主事 松丸 嘉也

松丸 嘉也

「私はあなたの恵みに拠り頼みます。
私の心はあなたの救いを喜びます。
私は主に歌を歌います。
主が私に良くしてくださいましたから。」

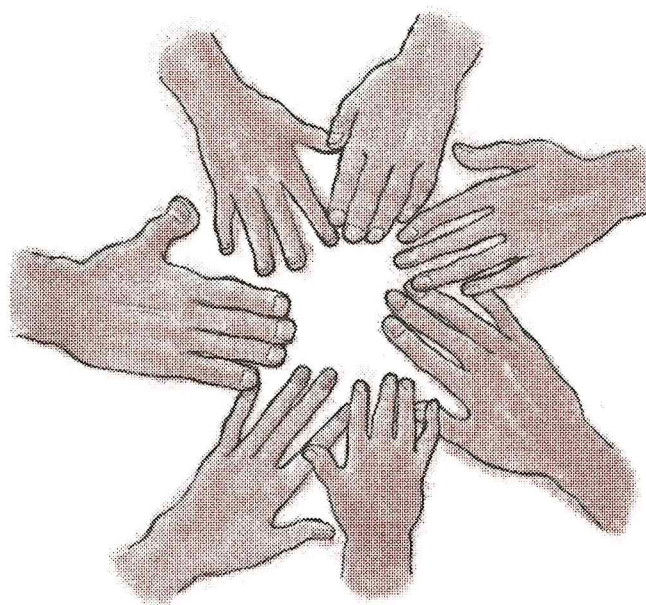
詩篇 13：5, 6 （聖書 新改訳 2017）



日本ウィクリフ聖書翻訳協会 総主事 松丸 嘉也
日本ウィクリフ委員会 委員長 大村 裕康
〒351-0021 埼玉県朝霞市西弁財1-9-26-210

電話 & Fax : 048-466-3730
Email info@wycliffejapan.org
HP www.wycliffejapan.org

『送り出す者として』（新装・改訳） 2021年1月発売予定！



長らくお待たせいたしました！

異文化での働き人の良き同伴者、送り出す者となるための手引書、
『送り出す者として』（B5版 約160ページ）が新装・改訳され、
来年1月に発売予定です。1冊500円（税込）＋送料実費。
みなさまの宣教の働きのために用いていただければ幸いです。

ご予約は、下記の予約票をご利用ください。Eメールでも承ります。
ご予約された方には、本書が発売され次第、随時発送いたします。
※Eメールの場合は、予約票の内容をもれなくお知らせください。

Eメール: info@wycliffejapan.org

ファックス: 048-466-3730

予約票

お名前

ご住所
〒

電話番号

冊

聖書をすべての言語に！


Wycliffe
Japan

日本ウイクリフ聖書翻訳協会

〒351-0021

電話 & Fax: 048-466-3730

埼玉県朝霞市西弁財1-9-26-210 Email: info@wycliffejapan.org

HP: www.wycliffejapan.org

日本ウィクリフ出版物のご案内

『神さまに こづかれて』★

カナダ・ウィクリフのジャック・ポプジェス宣教師が書いた“*A Poke in the Ribs*”の日本語版。南米でカネラ語新約聖書の翻訳者として奉仕し、その後、カナダ・ウィクリフとカリブ海地区のウィクリフの総主事を歴任した著者の豊富な経験をもとに、異文化宣教や聖書翻訳宣教について様々な視点から書かれたエッセイ集。 A5版 1冊500円(送料実費)



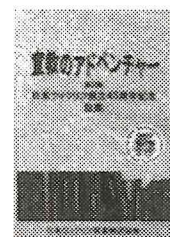
★『アタ語 聖書献書式』DVD

2011年4月30日、パプアニューギニアのニューブリテン島にあるワシラオ村で行われたアタ語の新約聖書(創世記・ヨナ書付)の献書式の様子に加え、25年以上にわたるプロジェクトの歴史も加えた10分50秒の記録映像です。 1枚1,000円(送料実費)

『宣教のアドベンチャー (第3集) 日本ウィクリフ45周年記念 証集』★

日本ウィクリフの45周年を記念して出版された証集です。日本ウィクリフの宣教師の証の他、団体の歴史や2013年に行われた45周年感謝集会でのメッセージ(要旨)も掲載しています。

A5版 1冊500円(送料実費)



★『真理の源を求めて』

30年以上もの長い間、パプアニューギニアのフォロパの人々の間で生活し、聖書翻訳の働きを続けてきたウィクリフの宣教師ニール&キャロル・アンダーソン夫妻の経験を、ニール師の視点で書いた本。各章を通じて聖書翻訳にまつわる興味深い話が紹介されており、一気に読みたくなります。 B6版 1冊 800円(送料実費)

2021年版オリジナル・カレンダー★

日本ウィクリフのオリジナルカレンダー2021年版を販売中です。A5サイズの冊子カレンダー(2ヶ月見開き全16頁)1冊320円(税込)+送料実費。10冊以上ご注文の場合は、1冊300円とお得です。



ご注文は、下記の注文票をご利用ください。Eメールでも承ります。

※Eメールの場合は、注文票の内容をもれなくお知らせください。

Eメール: info@wycliffejapan.org

ファックス: 048-466-3730

注文票

お名前

『神さまに こづかれて』 冊

ご住所
〒

『アタ語 聖書献書式』DVD 枚

『宣教のアドベンチャー』 冊

電話番号

『真理の源を求めて』 冊

※ご希望のものに✓

2021年版オリジナル・カレンダー 冊

聖書をすべての言語に!



日本ウィクリフ聖書翻訳協会

〒351-0021

電話 & Fax: 048-466-3730

埼玉県朝霞市西弁財1-9-26-210 Email: info@wycliffejapan.org HP: www.wycliffejapan.org

